

会 議 録

会議名		令和6年度第2回小山地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和6年7月2日(火) 19時00分～20時20分		
開催場所		小山公民館 大会議室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 報 告 (1) 相模原市中央区区民会議の推薦について 4 議 題 (1) まちづくり会議におけるE-mailの活用について (2) 「令和6年度まちづくり会議の検討テーマ」にかかるアンケート結果及び「令和6年度のまちづくり会議の検討テーマ」について (3) 地区まちづくりを考える懇談会について 5 その他 ・相模原駅北口地区土地利用計画の策定スケジュールについて ・第1回まちづくり会議での質疑事項について ・令和5年度地域活性化事業交付金まとめ誌 6 閉 会		

議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言●は事務局の発言)

1 開 会

2 会長あいさつ

入谷会長のあいさつにより開会した。

また、併せて今回の会議から、公民館利用者懇談会の小宮里美さんが会議委員となることが報告された。

3 報 告

(1) 相模原市中央区区民会議の推薦について

小山地区まちづくり会議会則第13条の規定に基づき、入谷会長を推薦するについて、報告された。

<主な意見・質疑>

特になし

4 議 題

(1) まちづくり会議におけるE-mailの活用について

会議通知等をE-mailで送付して欲しい旨、委員から要望があったことから、今後、希望者に対しては会議通知等をE-mailで送付することを事務局から提案した。

また、連絡先については、別紙「まちづくり会議における連絡先(E-mail)について」を7月12日(金)までに事務局へ提出するよう依頼した。

<主な意見・質疑>

特になし

(2) 「令和6年度まちづくり会議の検討テーマ」にかかるアンケート結果及び

「令和6年度のまちづくり会議の検討テーマ」について

初めに、入谷会長から資料に沿って、当アンケート結果について「②安全・安心」を選択した委員が最も多かったことが報告された。

次に、「②安全・安心」の選定理由として「災害」を挙げた委員が多かったことを踏まえ、役員(案)としては、以下、主題テーマ並びに詳細テーマ(案)が提案された。

主題テーマ : 『「安全・安心」～災害に強いまち小山～』

詳細テーマ案① : 災害弱者を減らすことについて

詳細テーマ案② : 宮下地域の水害対策について

詳細テーマ案③ : ペットの同行避難について

また、令和6年度の検討テーマの選定方法については、詳細テーマ（案）①～③を3つのグループで議論して、各グループで1つのテーマを選び、3グループの中でも最も多かったテーマを令和6年度の検討テーマとしたい旨提案がされた。

最後に、星副会長から詳細テーマ（案）①～③に関する補足説明が行われた。

・詳細テーマ（案）①災害弱者を減らすことについて

地域には自治会に加入していない方や、近所の方と接点がない方などの災害弱者がいるが、その様な立場の方であっても災害が発生した際は助け合う必要がある。小山地区として、災害弱者を減らしていくにはどうしていけばよいかを考えたい。

・詳細テーマ（案）②宮下地域の水害対策について

宮下地域は境川があり、多くの世帯が浸水想定区域に指定されているため、宮下地域の方は河川氾濫の怖さを抱えて生活しているという事実がある。小山地区として、どのような対応ができるかを考えたい。

・詳細テーマ（案）③ペットの同行避難について

ペットの同行避難については、ペットはケージに入れ、避難者と切り離すのがルールである。しかしながら、ペットを飼っている方から「ペットと一緒に生活したい」という意見が依然としてあることから、その場合、小山地区としてはどのような課題があり、どのような対応ができるのかを考えたい。

【グループワークでの検討】

事務局から資料に沿ってグループワークの概要を説明し、別紙に示したグループでの検討を開始した。

◆各グループの結果

グループ	選定テーマ	理由等
A	①災害弱者を減らすことについて	<p>災害弱者は、高齢者、要介護者や要配慮者のみならず、外国籍の方、単身世帯、小さい子どもがいる世帯や、自治会未加入で各種情報が届いておらず、災害対策ができていない様な情報弱者も含まれると考えられる。災害時の対策においては、その様な方々も含めて、地域全体として考えていく必要があると思うため、本テーマを選定した。</p> <p>今後の議論については、災害弱者の考え方・捉え方が幅広いため、まずは災害弱者の定義付けをすることから始めたい。そして、情報が行き届いていない方については、啓発を進めていきたい。</p>

B	①災害弱者を減らすことについて	<p>昨今の課題として、高齢化、共稼ぎ世帯、一人暮らし世帯や空き家などが増え、自治会加入率や近所付き合いが減っている。その様な状況の中、災害弱者を意識したり、把握したりすることで地域のリスクに気づき、そこから実施すべき対策が絞れると考え、本テーマを選定した。</p> <p>また、今後実施することについては、Aグループと同様に、まずは災害弱者の定義を決めることが必要だと思う。災害弱者について議論することで、自治会の意義などの原点回帰的な発想もでてくると思う。</p>
C	①災害弱者を減らすことについて	<p>民生委員・児童委員においては、災害等が起こった際に、所有しているリストを活用し、リストに掲載されている高齢者の方等を手助けすることが可能だが、地域全体としては、高齢者に限らず、身体が不自由な方、留守番中の子どもなどさまざまな災害弱者を把握していくことが大切である。</p> <p>そういった災害弱者を把握することによって、お互いを見守る関係が築かれ、自治会やで地域での絆も深まると考え、本テーマを選定した。</p>

<主な意見・質疑>

○民生委員・児童委員が把握している支援が必要な方のリストについて、横浜市の町内会においては、個人情報という理由で閲覧することができなかった。災害時において情報を共有できないと、いろいろな対応をしづらと思うが、その辺りを解消できる様にして欲しい。また、相模原市はどの様な対応なのか。

⇒●民生委員・児童委員については守秘義務があるため、その範囲内での対応となる。相模原市については、国が定めた基準に応じて災害時要援護者のリストを作成している。リストは本人同意を得れば各自治会等へ提供可能だが、個人情報のため、事前に市と自治会等で協定を締結することによって提供可能となる。

○今後の議論は、各種災害があった際の地域における被害想定を専門家の方等に確認し、それに依じて進めたい。

⇒●市内の22地区で「地区防災計画」を作成しており、その計画に地震が起きた際の建物や人的被害の想定が示されている。その他にも市が作成した「ハザードマップ」や地区独自の「防災マップ」においても、水害や土砂災害の想定が示されている。こういった計画を改めて勉強することが非常に大切であるため、その様な勉強会を今後開催できたらと思う。

○マンションに居住しているが、「災害が起きても新しいマンションだから大丈夫

夫」という声を聞くこともあり、私自身についても、備蓄用食料を7日分も用意していない。災害が起きた時の被害について周りの方に聞いてみても、皆バラバラな意見である。

⇒●最新のマンションに居住していても、災害が起きたらエレベータが止まる、水道管に被害が生じるなどのいろいろなことが想定されると思う。備蓄品についても、一般的な備えをしていても、過去の震災ではそれを越えた品が必要であったこともある。

先ほどの議論にもあったように、正しい情報がない方も広い意味では災害弱者に該当すると思うので、今後は、災害弱者の定義を決め、その方達にあったアプローチや、啓蒙活動も併せた取組ができればよいと思う。

○災害に関するテーマは1年で完結するのは難しいと思うので、2～3年かけて議論していきたい。

<結果>

グループワークの結果、令和6年度の検討テーマは「①災害弱者を減らすことについて」とすることに決定した。

【今後のスケジュールについて】

入谷会長から、役員会でも協議した結果、今年度は検討テーマが新規であるため、例年実施している「まちづくりを考える懇談会」は開催せず、その代わりに8月20日（火）に予備日を活用した勉強会、12月3日（火）の予備日にも会議を実施し、テーマを深掘して検討したいという方向性について提案がされた。

また、勉強会のテーマについては委員アンケートにより検討したい旨依頼された。

<主な意見・質疑>

異議なく承認された。

(3) 地区まちづくりを考える懇談会について

議題（2）においてまちづくりを考える懇談会は「実施しない」ことに決定したため、事務局から令和6年度の地区まちづくりを考える懇談会の概要のみ説明した。

<主な意見・質疑>

特になし

5 その他

事務局から以下の事項について報告等をした。

・相模原駅北口地区土地利用計画の策定スケジュールについて

当計画の策定期間が、当初予定していた令和6年度中から令和7年度の夏頃に変更となった。理由は、民間企業等から土地利用について提案を受けた上で検討

を進める方向性としたためである。

・第1回まちづくり会議での質疑事項について

①高齢者等における単身世帯のごみ出し

市として取組はしていない。市へ依頼があった際は、地区のシルバー人材センターや地区社会福祉協議会において実施している「ふれあいサービス」などの取組をご案内している。また、戸別収集についての意見もあるが、ごみの減量化等が進む一方で作業員や車両の確保に伴う経費の増大等も見込まれるため、市民の方にご理解をいただく必要がある。市としては今後審議会において議論を進めていく。

②ごみ集積場におけるカラス対策

市としてカラスの駆除等は実施していない。市へ相談等があった際は、カラス対策を踏まえたごみ出しの方法をご案内している。

・令和5年度地域活性化事業交付金まとめ誌

当まとめ誌の概要を説明し、配布した。また、当交付金の活用のヒントになるため、ぜひご一読いただくよう依頼した。

6 閉 会

長谷川副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

小山地区まちづくり会議委員出欠席名簿

令和6年7月2日開催

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	入谷 利郎	小山地区自治会連合会	会長	出席
2	加治 左近	宮下自治会		出席
3	徳永 三朗	すすきの自治会		出席
4	亀田 浩代	すすきの向陽自治会		出席
5	新田 弘子	向陽町自治会		出席
6	丸山 和加恵	久保原自治会		出席
7	武井 弘吉	自治会法人 氷川町自治会		欠席
8	宇根 浩	相模原駅前自治会		欠席
9	福田 雅幸	東第一自治会		出席
10	笠原 昌昭	丸山自治会		出席
11	星 清次	小山公民館	副会長	出席
12	川口 久美	小山公民館		出席
13	小宮 里美	小山公民館利用者懇談会		欠席
14	長谷川 澄男	小山地区社会福祉協議会	副会長	出席
15	山田 良章	小山地区社会福祉協議会		欠席
16	小池 美恵子	小山地区民生委員・児童委員協議会		出席
17	大谷 春枝	青少年健全育成協議会		出席
18	永山 康雄	防犯指導員		欠席
19	加藤 秀子	相模原交通安全協会小山支部		出席
20	中村 悠一	向陽小学校PTA		出席
21	金子 順	小山中学校PTA		出席
22	中里 和男	相模原西商店街協同組合		欠席
23	小田 信之	小山地域包括支援センター		出席
24		学識経験者		